

2026年度 情報理工学域 学生募集要項

公開しております学生募集要項（PDF）では出願ができません。
出願の際は必ず紙媒体の募集要項（冊子）を入手し、
封入されている願書等により出願してください。
入手方法は、本学ウェブサイトの入試資料請求のページをご覧ください。

特別編入学

- I 類（情報系）
- II 類（融合系）
- III 類（理工系）

推薦による選抜

出願期間	2025 年 5 月 16 日(金)～ 5 月 20 日(火)
面接試験	6 月 2 日(月)
合格発表	6 月 6 日(金)

学力試験による選抜

出願期間	2025 年 6 月 9 日(月)～ 6 月 11 日(水)
学力試験	6 月 19 日(木)
合格発表	7 月 4 日(金)

特別編入学に関して変更等や不測の事態が生じた場合は、
本学ウェブサイトでお知らせします。

目 次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）と入学者選抜の基本方針	1
1 情報理工学域について	4
2 募集人員.....	4
3 編入年次.....	4
4 選抜方法.....	4
5 推薦による入学者の選抜.....	5
6 学力試験による入学者の選抜	8
7 注意事項.....	11
8 障害のある者の出願.....	12
9 入学手続.....	12
10 編入学後の履修等について	12
11 個人情報の取扱い	14
12 入学試験の個人成績の開示について.....	15
13 2025 年度情報理工学域特別編入学試験実施結果	16

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）と入学者選抜の基本方針

電気通信大学は、人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、社会とともに発展を続けてきました。科学・技術の発展を先導し、知識基盤社会を支える高度な人材を育成することは、大学の最も重要な使命です。

この使命のもと、社会的課題の解決に寄与し、人々が心豊かに生き甲斐を持って暮らせる社会の実現に貢献するためには、もの、エネルギー、情報の交換による、「人」、「自然」、「社会」、「人工物」の間の相互作用を正しく理解し、それを通じた価値の創造が不可欠です。

本学は、そのような価値の創造をもたらす科学・技術体系を、広義のコミュニケーションの視点から「総合コミュニケーション科学」と捉え、これに関する教育研究の世界拠点となることを目指します。そして本学は、そのための取り組みを通じて、21世紀の世界に貢献したいと考えます。

1. 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

【情報理工学域】

「総合コミュニケーション科学」の基盤となる情報、通信、電子、機械、ロボティクス、光科学、量子物性、基礎科学等の情報領域、理工領域はもとより、両者の融合による革新的学際領域において、新しい価値の創造に貢献することがますます期待されています。

電気通信大学では、時代の要請を踏まえ、学生自らが、成長にあわせて段階的・探究的に専門分野を選択し、高度な専門性と総合力を身につける学修者主体の教育を実施します。

情報、融合、理工の各領域において、基礎学力と倫理観を備え、国際性、応用力、実践力を伴う確かな専門基礎力と継続的学修能力を持ち、社会との関わりの中で大きく成長していくことのできる人材を育成します。その過程においては、科学的思考力、俯瞰力、倫理意識、論理的コミュニケーション能力等の涵養を大切にします。また、学士課程と修士課程（博士前期課程）の一貫性も教育課程の大きな特徴であり、学域における学びが、先端的な学問研究へと展開します。

このような教育方針に沿って、以下のような資質・能力・意欲を持った皆さんを、広く国内外から受入れます。

【情報理工学域・求める学生像】

「総合コミュニケーション科学」とその基盤となる領域に不可欠な自然科学および数学に強い興味と探究心を持ち、その学修およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づく教育の実現のために必要な基礎学力と論理的思考力・判断力・表現力を有し、多様な人々と協働しながら主体的に学ぼうとする意志の強い皆さんを求めます。

情報、融合、理工、それぞれの領域において、修得した知識と技術を活用して広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲に溢れる人を歓迎します。

【I類（情報系）】

情報に関わる学問の基礎を広く学びます。情報を対象とする学問は多様であり、その領域は広範です。例えば情報それ自体を取り扱う学問には、情報の本質や実態を追究する分野、表現や加工、活用の技術や手法を開発する分野、また、情報の流通・収集・蓄積に関わる通信ネットワークの分野などがあり、それぞれが独立した学問として発展しています。

一方で情報に関わるすべての学問は相互に影響し合い、情報化社会を支えています。そのため次世代の情報化社会を先導する担い手には、一つの専門分野に軸足を置きつつハード・ソフトの両面を理解し、複数の専門分野にまたがる広い視野を持つことが求められます。I類では、情報に関わる分野全般に共通するコンピュータ、アルゴリズム、プログラムなどを学ぶとともに専門分野の基礎を身につけ、その後は「メディア情報学」、「経営・社会情報学」、「情報数理工学」、「コンピュータサイエンス」、「デザイン思考・データサイエンス」という教育プログラムのいずれかで、専門性を高めます。

【I類（情報系）・求める学生像】

目まぐるしく変化する現代社会における情報形態の多様化、情報量の拡大といった環境の変遷に対応して、「人と人」、「人とのもの」、「人と社会」のコミュニケーションの高度化が、これからの社会の発展に必要な不可欠となっています。情報の生成から、収集、流通、蓄積、加工および活用までを総合的に扱う学問である「情報学」を学び、身につけ、次世代の情報化社会を支える技術の創成を担う科学者・技術者を目指そうとしている人を歓迎します。

【Ⅱ類（融合系）】

新しい科学技術やイノベーションの創出には、理学、情報学、工学、医学などの分野間の融合がとても重要です。

Ⅱ類では、電子情報・通信機器、計測機器、ロボットなどの産業応用をより強く意識したハードウェア技術および人工知能、データサイエンスを含めた制御、さらには情報通信システムや多様化するネットワークのセキュリティに関するソフトウェア技術について、5つの教育プログラム「セキュリティ情報学」、「情報通信工学」、「電子情報学」、「計測・制御システム」、「先端ロボティクス」で広く深く学ぶことができます。また、その過程では、俯瞰力、倫理観、社会性、国際性、論理的コミュニケーション能力を確立し、様々な分野への応用、実践が可能となる専門基礎力と継続的学修能力を涵養します。

〔Ⅱ類（融合系）・求める学生像〕

情報学と理工学の基礎をなす数学、理科および英語に興味と学力を有し、これらの学修をさらに深めていく意志を持つ人を求めます。また、情報学、理工学やそれらの融合に強い関心を持ち、それらの修得に必要な論理的コミュニケーション能力、主体性、独創性、目的達成力を持つ人を求めます。科学的思考力を支える好奇心、広い意味でのシステムづくりやものづくりへの関心、専門性を高める意志、将来の応用を支える倫理観、社会性を有することも重要です。理学、工学や情報学の基礎となる分野における国内外で開催される科学技術コンテスト等に参加や受賞した人を歓迎します。

【Ⅲ類（理工系）】

理工学の基盤となる物理学、化学などの自然科学や数学を基礎から体系的に学び、その主要な構成分野である「機械システム」、「電子工学」、「光工学」、「物理工学」、「化学生命工学」の中から学生自ら探究的に選択し各分野に進みます。専門教育では、講義だけでなく、演習や実験を通して高度な専門性と実践力・総合力を養います。

また、広く理工学分野の教養を育みながら、科学技術の発展と自然環境や国際社会との調和を実践できる倫理観および社会性・国際性を養います。その過程で、自身の考えを他者と共有するための論理的コミュニケーション能力も養います。

〔Ⅲ類（理工系）・求める学生像〕

理工学の基盤となる自然科学や数学に強い興味と探究心を持ち、その学修のために必要な基礎学力と論理的思考力を有し、主体的に学ぼうとする意志の強い人を求めます。また、読解力や文章力、口頭表現力など基本的なコミュニケーション能力を有することも重要です。自然環境や国際社会に関心が高く、広い視野からグローバルに活躍し、社会の発展に貢献するという意欲にあふれる人を歓迎します。

【先端工学基礎課程（夜間主コース）】

社会人および夜間の修学を必要とする人に対して「総合コミュニケーション科学」に関わる科学・技術に必要な専門教育の機会を提供するために、夜間主コースを設置しています。産業界における技術的課題を読み解き解決するために必要な基礎力および応用力を身につけた情報学や理工学の専門的職業人を育成します。

また、実務で必要となる技術者倫理や知財・特許管理を学ぶとともに、国際的に通用する論理的コミュニケーション能力の基礎を養います。

〔先端工学基礎課程（夜間主コース）・求める学生像〕

自然科学および数学に関する知識と技術の修得に努め、技術革新や産業構造の変化に対応しつつ広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めます。

2. 入学者選抜の基本方針

入学者の受入れに際しては、高等学校段階における学びの成果・実績の評価も含め、多様な選抜を実施し、学力の三要素を踏まえた多面的・総合的评价を推進します。一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、総合型選抜（夜間主コース）、私費外国人留学生選抜及び特別編入学の選抜方法に応じて、大学入学共通テスト、個別学力検査、総合問題試験、面接試験、基礎学力検査（CBT）、プレゼンテーション、調査書及びその他の提出書類のいずれかを組み合わせて、本学域での学修において求められる資質、能力、学力等について総合的に判断し、入学者の選抜を行います。

1) 特別編入学（推薦）

募集は、類別に募集します。

選抜は、推薦書、調査書及び面接試験を総合して行います。

面接試験では、情報・理工学分野を学ぶために必要な基礎学力や専門領域の基礎知識、志望動機、主体的な勉学意欲、自己表現能力などについての試問を行い評価します。

2) 特別編入学（学力）

募集は、類別に募集します。

選抜は、学力試験、面接試験及び調査書のうち、類が指定する方法を総合して行います。

学力試験は、情報・理工学分野を学ぶために必要な学力「数学、物理学又は化学」及び国際性を備えた人材を育成するために必要な語学力「英語」を入試科目として課します。解答は記述式により、解答のみならずその解答に至る思考・判断の過程及び表現力も含めて評価します。面接試験では、情報・理工学分野を学ぶために必要な基礎学力や専門領域の基礎知識、志望動機、主体的な勉学意欲、自己表現能力などについての試問を行い評価します。

1 情報理工学域について

- 1-1. 情報理工学域には、昼間の授業を履修する 3 つの類と夜間を主とした授業を履修する 1 つの課程を設けています。

「先端工学基礎課程（夜間主コース）」は他の 3 つの類と同じ 4 年の修業年限で、同程度の授業内容を履修し卒業できるように工夫されています。

今回募集するのは昼間に授業を行うⅠ類（情報系）、Ⅱ類（融合系）、Ⅲ類（理工系）の 3 つの類への 3 年次編入学です。特別編入学にあつては、高等専門学校等で履修した科目の単位は、本学で審査の上、本学に開設する授業科目の修得単位として一定の単位数まで認定されます。

出身学校における専門分野が編入学する類の教育内容と異なるなどにより、認定される単位が少なくなることがあります。

その場合、入学後に履修する科目が非常に多くなり、2 年で卒業することができなくなります。

- 1-2. 入学者選抜方法としては、「推薦による選抜」と「学力試験による選抜」の制度を設けています。

2 募集人員

類 3 年次からの専門教育プログラム	募集人員	備考
Ⅰ類（情報系） メディア情報学プログラム 経営・社会情報学プログラム 情報数理工学プログラム コンピュータサイエンスプログラム	9 名	推薦による入学者選抜は 募集人員の半数程度
Ⅱ類（融合系） セキュリティ情報学プログラム 情報通信工学プログラム 電子情報学プログラム 計測・制御システムプログラム 先端ロボティクスプログラム	10 名	
Ⅲ類（理工系） 機械システムプログラム 電子工学プログラム 光工学プログラム 物理工学プログラム 化学生命工学プログラム	10 名	

※Ⅰ類（情報系）「デザイン思考・データサイエンスプログラム」の募集は行いません。

3 編入年次

3 年次とします。

ただし、認定される単位が少ないと、2 年で卒業することができなくなります。

（注）編入学後の履修については、「10 編入学後の履修等について」を参照してください。

4 選抜方法

入学者の選抜は、推薦によるものと、学力試験によるものとの 2 つの方法により行います。

5 推薦による入学者の選抜

5-1. 推薦入学制度の趣旨

高等専門学校において、人物に優れ、学業成績が優秀で、かつ志望する類での専攻の意志が強く、学校長が責任をもって推薦できる者に対して、学力試験を免除し、面接試験及び提出書類による選抜を行います。

5-2. 出願資格

2026 年 3 月高等専門学校卒業見込みの者で、次表の本学の類に対応するいずれかの学科(コース・系)に在学する者に限ります。

本学の類	対応学科等
I 類 (情報系)	電気系, 電子系, 情報系, 電子情報系, システム系等関係する学科に在籍する者
II 類 (融合系)	電気系, 電子系, 情報系, 電子情報系, 機械系, 制御系, システム系等関係する学科に在籍する者
III 類 (理工系)	機械系, 制御系, システム系, 航空系, 電気系, 電子系, 情報系, 物質系, 材料系, 生命系等関係する学科に在籍する者

5-3. 推薦基準

在籍学校長が人物、学業ともに優れていると認める者で、学業成績が一定の基準に達している者であること。

上記の学業成績の一定の基準とは、I 類 (情報系)、II 類 (融合系)、III 類 (理工系) とともに次のとおりです。

- ① 3・4 年次の各学年の学科 (コース・系) 等、所属する最小単位現員に対する学業成績の席次の平均が上位 20% 以内の者
(例: 3 年次に 40 人中 5 位, 4 年次に 35 人中 4 位の場合, 合計 75 人中 9 位となり,
 $9 \div 75 = 0.12(12\%)$ であるため推薦基準を満たすといえます)
- ② 席次を定めない高等専門学校では、在籍学校長が①と同等と認めて推薦する者

5-4. 推薦可能な人数

各高等専門学校で 4 名以内

5-5. 出願手続

(1) 出願期間

2025 年 5 月 16 日 (金) から 5 月 20 日 (火) まで (5 月 20 日必着)

(2) 出願方法

出願しようとする者は、出願書類を本募集要項添付の封筒に入れ、簡易書留郵便で出願期間内に必ず到着するよう郵送してください。

郵送以外は受け付けませんので注意してください。

(3) 志望方法

I 類 (情報系)、II 類 (融合系)、III 類 (理工系) から 1 つの志望の類と、その類の専門教育プログラムを 1 つ選択して出願してください。

(4) 出願書類

出願書類	注意事項
※1.入学志願票	本募集要項添付の用紙(推薦用)に必要事項を記入してください。 上半身・脱帽・正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合、普通紙に印刷したものは不可)を受験票及び写真票の指定欄に貼ってください。また、写真の補正等を行わないでください。 検定料受付証明書貼付票に、金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(振込用紙右端)を所定欄に貼ってください。
※2.写 真 票	
※3.受 験 票	
※4.検定料受付 証明書貼付票	
※5.調 査 書	本募集要項添付の用紙を用い、在籍学校長が作成の上、厳封してください。 なお、在籍学校での作成に時間がかかる場合がありますので、余裕をもって依頼するようにしてください。作成方法など不明な点がある場合は、必ず事前に入試課までお問い合わせください。 ※在籍学校長が作成し、厳封された成績証明書と卒業見込証明書をもってこれに代えることができます。
※6.推 薦 書	本募集要項添付の用紙を用い、在籍学校長が作成の上、厳封してください。
7.入学検定料	① 30,000 円 を本募集要項添付の払込用紙により金融機関(郵便局・銀行等)の窓口で払い込んでください。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(振込用紙右端)を受け取り、検定料受付証明書貼付票の所定欄に貼ってください。 ※日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は入学検定料の支払は不要ですが、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。
※8.受 験 票 等 送付用封筒	本募集要項添付の封筒を用い、受験票の送付先を明記し、 410 円 分の切手を貼ってください。
※9.あ て 名 票	合格通知書及び入学手続書類の送付先を明記してください。
10.そ の 他 の 証 明 書	①日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票(在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの)を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し(氏名、生年月日、性別が記載されている箇所)を提出してください。 ②転校等により複数の高校に在籍した者は、すべての高校の成績がわかるもの(成績証明書など)を提出してください。

(注) ※印のものは、この募集要項に添付されているものを使用してください。

- ・ 出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。
- ・ 提出書類に不備がなかった場合、入試課からの受領の連絡は行っておりません。

5-6. 選抜方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書、面接試験の結果を総合して行います。

5-7. 選抜期日及び場所

期日	区分	時間	場所
6月2日（月）	面接試験	9:30～	電気通信大学

5-8. 面接試験の内容

類名	面接の内容
I 類（情報系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学と情報の基礎知識などについて試問を行い評価します。
II 類（融合系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学と専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。
III 類（理工系）	個人面接により、志望動機、勉学意欲、自己表現能力、卒業研究の内容、数学、物理又は化学と専門科目の基礎知識などについて試問を行い評価します。

5-9. 合格者の発表

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト（<https://www.uec.ac.jp/>）において「**2025年6月6日（金）10時00分頃**」から発表日も含めて7日間掲載する予定です。
なお、合格者には合格通知書を発送します。
（注）電話、メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

5-10. 入学確約書の提出

合格者は、入学確約書を**2025年6月20日（金）**までに本学へ提出してください。
なお、入学確約書の用紙は合格通知書と併せて送付します。

5-11. 「推薦による入学者の選抜」に合格しなかった者の取扱い

「推薦による入学者の選抜」で不合格となり「学力試験による入学者の選抜」への出願を希望する場合は、新たに募集要項を入手し、所定の方法で出願してください。ただし、調査書の再提出は不要です。
なお、「推薦による入学者の選抜」の合格発表から「学力試験による入学者の選抜」の出願期間までの期間が短いため、受験を検討されている方はあらかじめ募集要項を2部入手しておくことが望ましいです。

6 学力試験による入学者の選抜

6-1. 出願資格

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者及び 2026 年 3 月卒業見込みの者
 - (2) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上のものに限る。）を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込の者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 - (3) 大学を卒業した者及び 2026 年 3 月卒業見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込の者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込の者
 - (6) 大学（前号の教育施設を含む。）に 2 年以上在学（2026 年 3 月までに 2 年以上の在学となる者を含む。）し、64 単位以上を修得（見込みを含む。）した者
 - (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科（修業年限が 2 年以上のものに限る。）を修了した者及び 2026 年 3 月修了見込の者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 注1) 上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）により定められたものに限り、（※各省庁設置の大学校からの編入学は認められません。）
- 注2) 上記(6)において、所定の単位を修得見込みの者が、2026 年 3 月までに修得できなかった場合には、入学許可を取り消します。
- 注3) 特記のない限り上記の高等専門学校、短期大学、専修学校、高等学校等及び大学は日本の学校を指します。

6-2. 出願手続

(1) 出願期間

2025 年 6 月 9 日（月）から 6 月 11 日（水）まで（6 月 11 日必着）

(2) 出願方法

出願しようとする者は、出願書類を本募集要項添付の封筒に入れ、簡易書留郵便で出願期間内に必ず到着するように郵送してください。

郵送以外は受け付けませんので注意してください。

(3) 志望方法

I 類（情報系）、II 類（融合系）、III 類（理工系）から 1 つの志望の類と、その類の専門教育プログラムを 1 つ以上選択して出願してください。なお、I 類（情報系）においては第 4 志望の専門教育プログラムまで、II 類（融合系）と III 類（理工系）においては第 5 志望の専門教育プログラムまで選択することができます。

(4) 出願書類

出願書類	注意事項
※1.入学志願票	本募集要項添付の用紙(学力試験用)に必要な事項を記入してください。 上半身・脱帽・正面向きで出願前 3 か月以内に撮影した写真（縦 4cm×横 3cm, デジタルカメラ等で撮影した場合、普通紙に印刷したものは不可）を受験票及び写真票の指定欄に貼ってください。また、写真の補正等を行わないでください。 検定料受付証明書貼付票に、金融機関の日附印が押印されている「振替払込受付証明書(検定料受付証明書)」(振込用紙右端)を所定欄に貼ってください。
※2.写 真 票	
※3.受 験 票	
※4.検定料受付 証明書貼付票	本募集要項添付の用紙を用い、出身（在籍）学校長（または学部長）が作成の上、厳封してください。 なお、出身（在籍）学校での作成に時間がかかる場合がありますので、余裕をもって依頼するようにしてください。作成方法など不明な点がある場合は、必ず事前に入試課までお問い合わせください。 ※出願資格となる出身（在籍）学校長（または学部長）が作成し、厳封された成績証明書と卒業(見込)証明書をもってこれに代えることができます。
6.在学(期間)証明書	出願資格（6）による出願に該当する者。 出願資格となる出身（在籍）学校長（または学部長）が作成したもの。 (注)証明書は原本を提出してください。
7.単位修得(見込)証明書又は履修中及び履修予定の科目の科目名と単位数が記載された書類	出願資格（6）による出願に該当する者。書類は、自身の氏名が明記された履修登録画面のコピー等を提出してください。
8.入学検定料	① 30,000 円 を本募集要項添付の払込用紙により金融機関（郵便局・銀行等）の窓口で払い込んでください。 ② 払込手数料は、志願者本人の負担です。 ③ 払い込んだ後、「振替払込受付証明書・検定料受付証明書」（振込用紙右端）を受け取り、検定料受付証明書貼付票の所定欄に貼ってください。 ※日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は入学検定料の支払は不要ですが、国費外国人留学生であることを証明する書類を提出してください。
※9.受 験 票 等 送付用封筒	本募集要項添付の封筒を用い、受験票の送付先を明記し、 410 円 分の切手を貼ってください。
※10.あ て 名 票	合格通知書及び入学手続書類の送付先を明記してください。

11.その他の 証明書	① 日本国籍を有しない者は、市区町村の発行する住民票（在留資格、在留期間及び国籍の記載されたもの）を提出してください。なお、住民登録していない者はパスポートの写し（氏名、生年月日、性別が記載されている箇所）を提出してください。 ② 出願資格（7）による出願の者は、高等学校等が発行する修業年限 2 年以上で、かつ、文部科学省告示第 63 号又は第 64 号の基準を満たす課程を修了（見込）したことを証明する証明書を提出してください。 ③ 転校等により複数の高校に在籍した者は、すべての高校の成績がわかるもの（成績証明書など）を提出してください。
------------------------	---

- (注) ※印のものは、この募集要項に添付されているものを使用してください。
- ・ 出願書類の記入には、黒又は青のペンかボールペンを使用してください。
 - ・ 提出書類に不備がなかった場合入試課からの受領の連絡は行っておりません。

6-3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験の結果及び調査書のうち、各類が指定する方法を総合して行います。

学力試験の科目及び出題分野・内容等は次のとおりです。

なお、「物理学」、「化学」は学力試験時にいずれかを選択とします。

科目	出題分野・内容等
数学 (120 点)	微分積分学（一変数，多変数，基本的な微分方程式），線形代数学，関数論から 5 問出題，うち 4 問選択解答
物理学 (90 点)	力学，電磁気学，熱物理学，波動と光，現代物理学
化学 (90 点)	物質の結合，化学平衡（化学熱力学を含む）
英語 (90 点)	大学教養程度

6-4. 選抜期日及び場所

期日	区分	時間	場所
6 月 19 日（木）	数学	10：00～12：00 (120 分)	電気通信大学
	物理学又は化学 (学力試験時に選択)	13：00～14：30 (90 分)	
	英語	15：30～17：00 (90 分)	

6-5. 合格者の発表

合格者の受験番号は、本学のウェブサイト (<https://www.uec.ac.jp/>) において

「**2025 年 7 月 4 日（金）10 時 00 分頃**」から発表日も含めて 7 日間掲載する予定です。

また、合格者には合格通知書を発送します。

（注）電話，メール等による可否の問い合わせには一切応じません。

7 注意事項

7-1. 出願書類を受理したときは，受験票を郵送します。

7-2. 一度受理した出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

7-3. 納入済みの検定料は次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願書類が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

（注1）返還にかかる振込手数料は，請求者の負担となりますのでご了承ください。

（注2）返還の手続きについては，(2) は入試課から志願者本人に連絡します。

(1)(3)は，下記のウェブサイトを参照の上，「納入済検定料返還請求書」を作成し，財務課出納係へ **2025 年 6 月 20 日（金）**までに郵送またはメールでお送りください。また，「振替払込受付証明書」を必ず添付してください。

検定料の返還についてのページ

http://zaimu.office.uec.ac.jp/www/zaimu/kenteiryounennkan/kenteiryounennkann_top.htm



7-4. 出願後における記載事項等の変更は認めません。

7-5. 試験当日は，必ず受験票を携帯してください。

7-6. 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

7-7. 本学では受験者の宿泊に関する斡旋は行いませんので，あらかじめ各自で準備してください。

8 障害のある者の出願

障害のある者等で、受験上特別な措置や入学後に修学上特別な配慮を必要とする場合は、**2025 年 5 月 9 日（金）**までに入試課へ相談してください。

9 入学手続

9-1. 入学手続日

入学手続は、**2025 年 12 月中旬に行います**。ただし、日本政府（文部科学省）国費留学生は**2026 年 3 月**に行う予定です。手続日については、合格発表時に別途お知らせします。

なお、外国人留学生は、日本人学生と共通の入学手続に加えて、**2026 年 3 月**に追加入学手続を行なっていただく必要があります。**2025 年 12 月中旬**に入学手続を行った外国人留学生（国費留学生除く）の方には、**2026 年 3 月上旬頃**に別途詳細をお知らせしますので、必ず、所定の期日までに追加入学手続も行うようお願いします。

9-2. 入学手続に必要なもの

(1) 「電気通信大学受験票」

(2) 納入金

① 入学料	282,000 円
授業料（前期分）	267,900 円（年額 535,800 円）
計	549,900 円

（注）上記金額は改定されることがあります。

② 入学料・授業料の納入方法及びその他の提出書類等については別途通知します。

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

10 編入学後の履修等について

10-1. 編入学後の修業年限、卒業資格及び学位

卒業には学域に 2 年以上在学（最長在学期間は 4 年で、その期間には休学期間は含まれません。）し、出身学校で修得した単位のうち本学が認定した単位を含めて、次表に示した単位数以上修得しなければなりません。なお、卒業生には学士の学位が与えられます。

10-2. 編入学後の履修について

学域 3 年次に編入しますが、編入学後は各類で定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。

なお、卒業までに修得すべき単位と編入学の際に認定される単位の基準は次表のとおりです。この表は単位認定の上限を定めたもので、各人に対する認定は、出身学校における履修授業科目、成績証明書に記載された成績及び特別編入学試験成績を考慮して行いますが、出身学校における単位の修得状況によっては、認定しうる単位が限定される場合があります、2 年で卒業できないことがあります。

合格後の単位認定に関する通知をよく読み、十分な認定を受けられるよう適切に手続きを取る必要があります。

履修単位の認定基準

特別編入学生の履修単位の認定基準

5.1 (星間コース)		卒業に必要な単位数													
区分	プログラム	包括認定単位数・認定しうる最高単位数(高専・短大・専修学校・大学等)										I 類			
		I 類					II 類					III 類			
		デザイン情報学	経営・社会情報学	コンピュータ工学	情報工学	セキュリティ情報工学	情報通信工学	電子情報工学	計測・制御システム	先端ロボティクス	機械システム	電子工学	光工学	物理工学	化学生命工学
総合文化科目	人文・社会科学科目【※】(注1)	6					6	6						8	8
		2					2	2							
		2					2	2						4	4
		4					4	4							
		1					1	1						2	2
	言語文化応用科目 I【※】(注3)	1					1	1							
		2					2	2							
		2					2	2						2	2
		2					2	2						2	2
		2					2	2						2	2
実践教養科目	健康・スポーツ科学科目	6					6	6						6	6
		-					-	-						2	2
		4					4	4						4	4
		2					2	2						4	4
		12					12	12						16	16
	理工系教養科目	18					20	20						20	20
		15					17	20	20	11	11	13	18	18	15
		-					-	4	4	4	4	9	2	2	6
		8					2	-	-	-	-	-	-	-	2
		23					19	24	24	15	15	22	20	20	23
専門科目	理数基礎科目	(6)	(4)	(10)	(10)	(4)	(8)	(8)	(8)	(18)	(18)	(10)	(12)	(6)	(10)
		-		-	-	-	-	(8)	(8)	(12)	(12)	(9)	-	(5)	(8)
		(10)	(10)	(10)	(10)	(14)	(8)	(8)	(8)	(8)	(4)	(12)	(12)	(2)	(2)
		10	10	10	10	14	8	8	18	18	10	12	12	6	10
		51	51	51	51	53	52	52	53	53	52	52	52	52	53
	専門(注5)5科目	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0
		85	85	85	85	85	84	84	84	85	84	84	84	84	85
		128					128								
		133					133								
		133					133								

【※】あめの科目区分は、包括認定を行う科目区分を示し、その科目区分の数字は包括認定の単位数を表す(網掛け箇所)。

【※】なしの科目区分は、個別認定を行う科目区分で、その科目区分の数字は認定しうる最高単位数を表す。

(注1) 人文・社会科学科目で、留学生対象の日本文化科目は単位認定を行わない。

(注2) 言語文化基礎科目 I で、日本人学生は「Academic Spoken English I」(1単位)及び「Academic Spoken English II」(1単位)の科目では個別認定を行い、「Academic English for the Second Year I」(1単位)の科目では包括認定を行う。留学生は4単位で包括認定を行う。

(注3) 言語文化応用科目 I で、日本人学生は「Academic English for the Second Year II」(1単位)の科目では個別認定を行い、「Academic English for the Second Year I」(1単位)の科目では包括認定を行う。留学生は2単位で包括認定を行う。

(注4) 技術英語科目で、「Technical English - Basic English for Science」(2単位)の科目では個別認定を行い、「Technical English - Intermediate English for Science」(2単位)の科目では単位認定を行わない。

(注5) 括弧内の数字は、「専門科目」の必修・選択の各科目区分ごとに設けられた認定上限を表し、「専門科目」全体では、小計で記載されている単位数が認定上限となる。

(注6) 自由科目は認定対象外となる。

10-3. 教員免許状

本学域において教育職員免許法に基づき、所要科目の単位を修得し卒業（学士の学位を取得）した場合には、申請により次表の免許状を取得することができます。

なお、特別編入学生が教員免許状取得を目指すにあたっては、認定された科目・単位の使用に制限があるので、4月上旬頃に開かれる「教職課程ガイダンス」に必ず出席してください。

免許状の種類・教科 類・専門教育プログラム		高等学校教諭一種免許状			中学校教諭一種免許状	
		数学	理科	情報	数学	理科
Ⅰ類（情報系）		○		○	○	
Ⅱ類（融合系）	セキュリティ情報学プログラム	○		○	○	
	情報通信工学プログラム	○		○	○	
	電子情報学プログラム	○		○	○	
	計測・制御システムプログラム		○			○
	先端ロボティクスプログラム		○			○
Ⅲ類（理工系）			○			○

10-4. 大学院（博士課程）

本学では、情報理工学研究科博士前期課程（修士）及び博士後期課程（博士）を設けています。

11 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人電気通信大学個人情報保護規程」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、入学手続業務及びこれに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されないかたちで、今後の入学者選抜方法の調査・研究、分析及び広報活動の検討資料の作成のために利用することがあります。
- (3) 上記(1)及び(2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。その場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲内で、保有する個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (4) 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

12 入学試験の個人成績の開示について

特別編入学の個人成績を受験者本人に限って開示します。

2026 年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、**受験者本人が期間内に申し込んでください。**

12-1. 申込期間

2026 年 5 月 7 日(木)～5 月 28 日(木)

12-2. 申込方法

以下の書類を取り揃え、郵送により申請してください。

なお、電話、FAX 等での申し込みは受け付けません。

(1) 個人成績開示願

下記のウェブサイト参照の上、「個人成績開示願」を作成してください。

<https://www.uec.ac.jp/education/undergraduate/admission/result.html>



(2) 受験票

本人確認のため、受験票を同封してください。(コピー不可)

受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書(学生証等)のコピーを送付してください。

(3) 受験者本人の住所・名前を明記した、460 円分の切手を貼った返信用封筒(規格：長形 3 号※本募集要項には添付していません。)

12-3. 開示する個人成績

推薦による入学者の選抜 : 面接評価, 順位

学力試験による入学者の選抜 : 科目別得点, 合計点, 順位

12-4. 開示の方法

個人成績開示願を受理した日から 30 日以内に、簡易書留郵便により受験者本人宛に郵送します。

12-5. 送付先

電気通信大学入試課入学試験係

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

TEL 042-443-5103

13 2025 年度情報理工学域特別編入学試験実施結果

類	募集人員	推薦による選抜			学力試験による選抜			合 計		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
I 類（情報系）	9	8	8	4	47	47	12	55	55	16
II 類（融合系）	10	13	13	5	47	45	13	60	58	18
III 類（理工系）	10	6	6	4	50	46	12	56	52	16
合 計	29	27	27	13	144	138	37	171	165	50

※推薦による入学者選抜は募集人員の半数程度

【問い合わせ先一覧】

問い合わせ内容	担当（連絡先）
入学試験に関する質問	入試課入学試験係 (042-443-5103)
入学金・授業料に関する質問	財務課出納係 (042-443-5040)
学生生活全般に関する質問	学生課学生係 (042-443-5087)
入学金・授業料免除及び奨学金制度に関する質問	学生課経済支援係 (042-443-5089・5090)
学生宿舎・寮に関する質問	〔申込みについて〕 学生課課外・厚生係 (042-443-5083) 〔その他〕 UEC Port 管理人室 (「学生宿舎・寮」管理人室) (042-429-3170)

- ・ 電気通信大学ウェブサイト

<https://www.uec.ac.jp/>

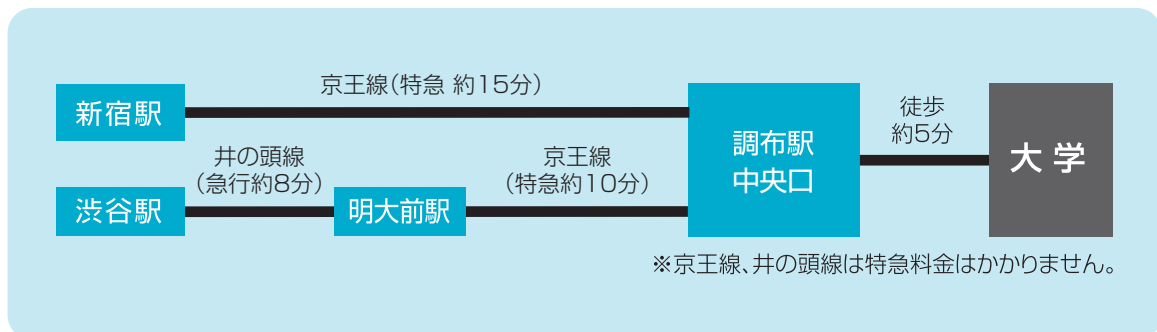
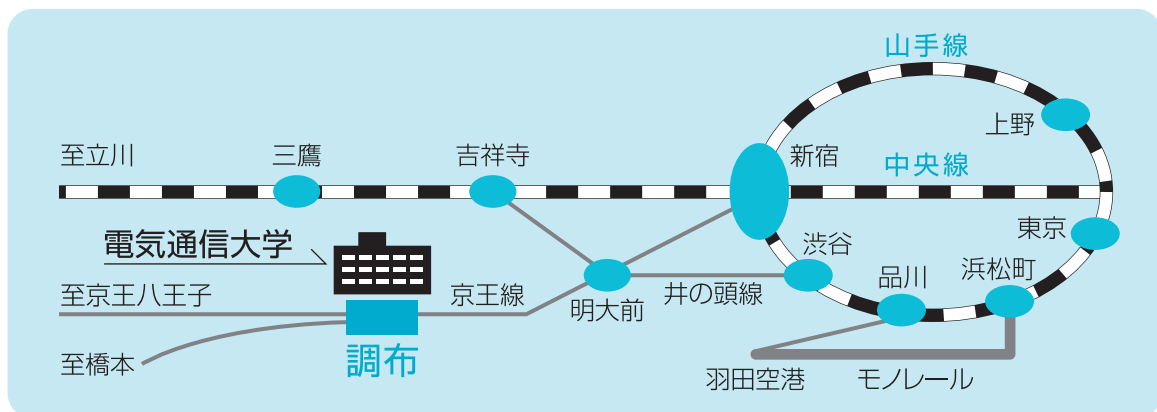
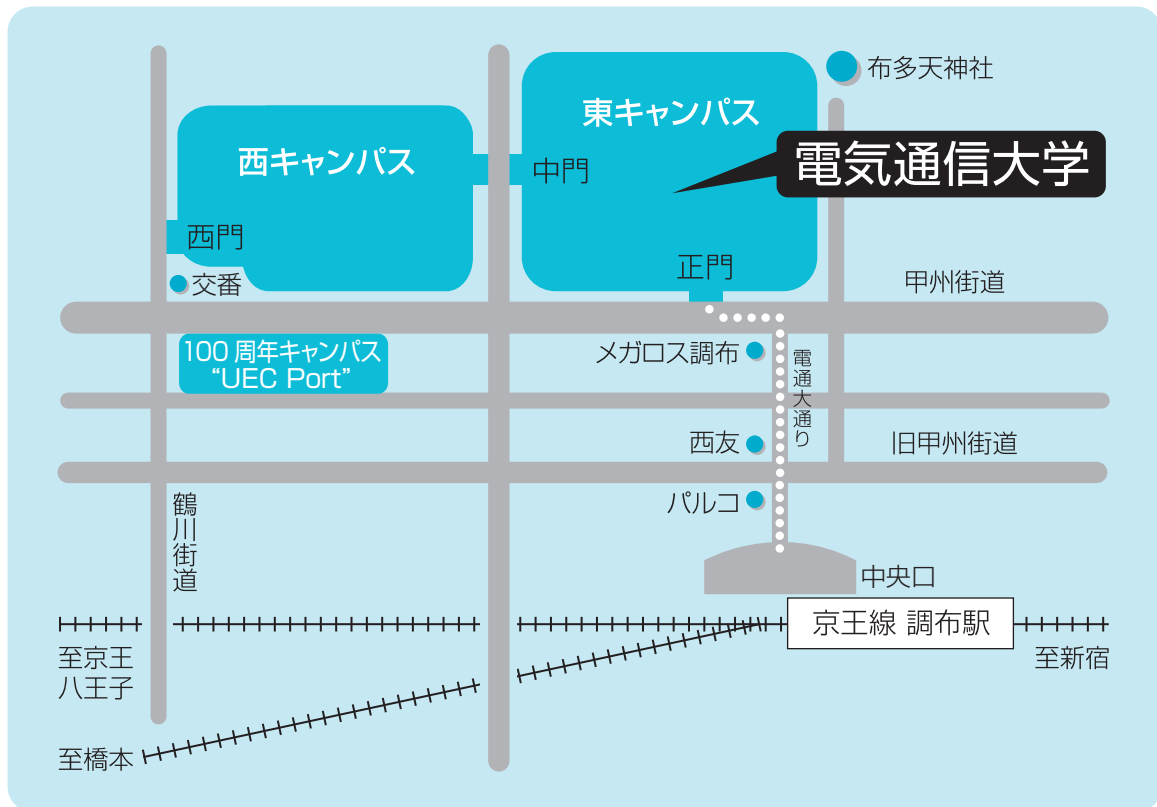


- ・ 入試に関する重要なお知らせ

<https://nyushi.office.uec.ac.jp/information/index1.html>



電気通信大学への案内図



電気通信大学 入試課

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL: 042-443-5103

E-mail open-camp@office.uec.ac.jp

<https://www.uec.ac.jp/>